

障害者自立支援法の  
一割負担とは

**問** 塚越 障害者自立支援法の理不尽な一割負担について、障がい者が普通に生きることを市長は「受益」だととらえるのか。

**答** 生きるための受益ということでとらえています。

出前窓口サービスを

**問** 塚越 高齢で体が思うように動かなくなっているから役所の手続が多くなるが、市役所に行くのが困難な人のために出前窓口をやってはどうか提案する。

**答** 市民サービスの検討は重要課題と認識しています。

新型インフルエンザへの  
取り組み

**問** 岸川 新型インフルエンザへの市の取り組みは。

**答** 県と情報共有等をして、新型インフルエンザ対策本部会議で対応策等を協議しています。感染予防策として、妊婦や乳幼児等へは、保健センターでの個別指導やチラシ配布。高齢者や障がい者等へは、

必要な情報の提供。介護・福祉施設、保育現場では、消毒液の設置、手洗い・うがいの励行。学校では手洗い・うがい等の指導徹底を図っています。集団発生に対して、保育現場では種々の自粛要請や休業等も含めた対応。学校では、学級閉鎖等による集団感染防止策等を、また、校内での急な発生に対し、全校にマスク

市民生活

青少年の憩いの場を  
を配付し対策しています。

**問** 新井 青少年が生き生きと過ごせる場の確保を。

**答** 一〇万人都市としての青少年関連施設は必要と認識しています。今後は、総合振興計画の各種施策を推進していく中で、青少年施設も含め、複合的な施設整備を検討します。

循環バス

来年四月運行保証なし

**問** 足立 循環バス運行を

求める署名は一六〇〇名を超えた。六月定例会では来年四月から運行と答えている。実施できるのか。

**答** 庁内プロジェクトで、民間バスの状況をもとに検討中です。

**問** 民間の状況検討とは、一年前と変わらぬ答えだ。四月実現は不可能だ。合併時の約束をこの四年間で実現できなかった市長は、この責任をど

う取るのか。

**答** 現在の予算の範囲内で、ルート変更などを考えていきたい。

公共施設の利用基準の  
設定を

**問** 小峰 公共施設（分館

等）利用の統一基準の設定を。平成二十二年四月以降をめどに、統一した基準を検討していきます。

遊具撤去後の補充を  
急いで

**問** 岩崎 公園や学校の遊

具が危険で撤去された。子どもも成育に必要なので、改修や再設置を。

**答** 二カ所の学校で遊具の修理を予定しています。

福岡中央公園の  
枯死樹木対策は

**問** 野沢 福岡中央公園に枯死樹木が見られるが、今後の対策は。

**答** 国有地を借りているので、国とも相談をして対策を立て、改善を図るよう検討します。

農産物価格補償を

**問** 足立 FTA（自由貿易協定）について、市長の考えは。

**答** 自由化すると農産物の価格が下がり、農家が苦しい立場になりますが、世界経済の



子どもたちに安全な遊具を

交流という点で考えると、実施してもよいと考えます。

**問** 地域農業の保護と発展のため、市独自の価格補償を制度化すべきでは。

**答** 団体の育成という形で支援を考えています。

審議会や協議会の傍聴  
の制限について

**問** 小川 会議は公開が原則であるのに、傍聴要綱をつくり、制限されているのはなぜか。委任式やあいさつ等なぜ非公開としなければなら

パブリックコメント  
不要の理由は

**問** 小川 パブリックコメ

ントは、昨年四月に実施要綱が決まりました。その後、実施すべき案件の中で、「第二期ふじみ野市障がい福祉計画」一件は、不要とされ

ないか。さらに、傍聴の受付時間が各会議で違うのは、早急には正すべきではないか。

**答** 会議の公開に関する指針を見直し、検討していきたいと思えます。

都市政策

土地開発公社の廃止を  
含めた検討を

**問** 田村 地価の高騰傾向

がなくなくなり、公社が土地を先取得する必要性が薄れてきている。公社の廃止も含め、検討してどうか。

**答** 平成十九年度以降、土地は新たに取得していません。活用は縮小しています。直接市で取得する方針ですが、当面は公社は存続します。

上福岡駅西口に  
横断歩道を

**問** 鈴木 駅前広場から団地側へ向かう道路のところが鎖で仕切られているが、多くの方がまたいで通過する状況が常態化している。速度規制や徐行区間を設定するなど、

安全対策を講じて横断歩道を設置すべき。

**答** 市は状況を認識していますが、警察との協議が整っていません。対策については、関係者とも再度話し合いを持って検討していきます。

上福岡駅東口から県道  
までの歩道整備を

**問** 山口 視覚障がい者の皆さんが歩道整備を求めて、一七〇筆の署名を提出しました。県が進めている県道拡張工事と一体で整備を。

**答** 歩道整備について東武鉄道と協議し、「覚書」を取り交わしました。約一三八メートルの区間の歩道修繕工事費は、今議会に補正予算で計上しました。県との協議も進め、歩道新設工事を行ないます。

緑ヶ丘・亀居地区の  
まちづくり

**問** 前原 二重投資になるからと、公園整備や雨水浸水対策が先送りにされてきた地域。学園分館の建て替えもおこなわれている。総合振興計画の「快適な生活空間」実行に市は責任を持つべきでは。

**答** 他の市街化調整区域と同じように、地域の状況や緊急性、必要性を見ながら対応していきます。

藤間北野歩道橋の自転  
車通行対策

**問** 岸川 藤間北野歩道橋の自転車通行対策は。

**答** 第一弾としての修繕工事を川越市が東武鉄道に委託した後の来年四月以降に着手し、三カ月程度で終了する予定です。

